

# 2020 ノーリフトケアコーディネーター®～ベーシック養成講座 in 青森～

## 参加者募集

ノーリフトケアの必要性を学ぶ3日間研修のお知らせです。ベーシックプログラムは、オーストラリアで行われていた医療・介護職向けノーリフトコーディネーター養成講座3日間が軸となっていますが、**東京大学とのコラボレーションで作られた日本の医療介護施設における腰痛予防対策とケアの質を考える**研修内容となっています。この研修の目的は、「ノーリフトケア（持ち上げない・抱え上げない看護や介護）を理解し、職場に変化を起こすきっかけをつくることができる。」となっています。ノーリフトを通してケアマネジメントを再検討する視点を持ち、その必要性をほかの人にも説明できることを達成目標としています。アドバンスでは、実際に現場でノーリフトを導入するにはどのように実践するのか、また、ケア提供としてベーシックで学んだ技術をどのように活かし、地域連携につなげていくことができるのか。現場で実践できる人を育てることが目的です。アドバンス 養成講座はベーシックコース終了後に受講できます。

【日 程】 ①2020年6月30日(火) ②7月1日(水) ③7月15日(水)

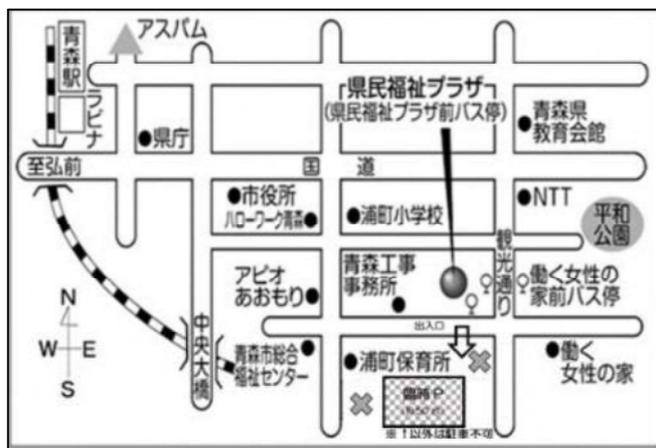
【時 間】 9:30～17:00

【会 場】 県民福祉プラザ2階  
(青森市中央3丁目20-30)

【対象者】 ノーリフトに興味のある方

※駐車場には限りがあります。公共交通機関等をご利用いただく等ご協力をお願い致します。

※館内50台/臨時駐車場約50台



【参加費】 3日間参加 協会会員 22,000円(税込) 会員外 27,500円(税込)

いずれか1日のみ参加の場合 11,000円(税込)

※お申し込み後の返金は、いたしかねますのでご注意ください。

※会員とは、日本ノーリフト協会の法人・個人会員のことを指します

【申込方法】 申込用紙を記入頂き、FAX かメールにてお送りください。送付後、事務局より

振込金額お知らせメールが届きますので、参加費をお振込ください。

事務局より入金確認が取れましたら、受講受付完了となります。

【申込締切日】 2020年6月15日(月)

※定員30名に達し次第締め切らせていただきます。

※申込者が25名に満たない場合は開催延期もしくは、中止となる場合がございます。あらかじめご了承下さい。

【申込先・問い合わせ】 公益社団法人青森県老人福祉協会 鹿内・三上

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号

電話:017-731-3755 FAX:017-731-3756 E-mail: roshikyo@themis.ocn.ne.jp

【主催】 一般社団法人日本ノーリフト協会高知支部 【共催】 公益社団法人青森県老人福祉協会

®「ノーリフト」「ノーリフトケア」は日本ノーリフト協会の登録商標です。

## 2020 ノーリフトケアコーディネーター®～ベーシック養成講座 in 青森～

- 下記をご記入いただき FAX (017-731-3756) もしくは、メールにてお申し込みください。[roshikyo@themis.ocn.ne.jp](mailto:roshikyo@themis.ocn.ne.jp)
- 研修お申込み後、10日以内に受講料を受付返信メールにてお知らせいたします。  
税込金額をご確認の上お振込みください。\*お申込受理後の受講料返金はいたしません。

【振込先】四国銀行 帯屋町支店(店番105) 普通 5155728

一般社団法人 日本ノーリフト協会高知支部 支部統括理事 下元佳子

1. 参加者名 ( )にはローマ字 漢字 男・女  ローマ字 ( )	職業  経験年数	ベーシック受講歴有の方 受講場所(市)  受講済みセッション	参加日に○を 3日間申し込み( ) 6月30日( ) 7月 1日( ) 7月 15日( )
2. 参加者名 ( )にはローマ字 漢字 男・女  ローマ字 ( )	職業  経験年数	ベーシック受講歴有の方 受講場所(市)  受講済みセッション	参加日に○を 3日間申し込み( ) 6月30日( ) 7月 1日( ) 7月 15日( )
3. 参加者名 ( )にはローマ字 漢字 男・女  ローマ字 ( )	職業  経験年数	ベーシック受講歴有の方 受講場所(市)  受講済みセッション	参加日に○を 3日間申し込み( ) 6月30日( ) 7月 1日( ) 7月 15日( )
① ご連絡先(法人名および事業所名)		会員 → ￥22,000 円(税込)	
② ご担当者名		一般 → ￥27,500 円(税込)	
		一日参加 → ￥11,000 円(税込)	
③ ご連絡先住所 〒 (職場・自宅) メールアドレス; 返信の為必須(パソコンメールを受信できるアドレスを記載して下さい。)  TEL(職場・自宅)			
④ 日本ノーリフト協会会員確認 会員(法人・個人)・非会員			

- ※ 実技講習がありますので、動きやすい服装でスニーカーなど踵のおさまる靴でご参加ください。
- ※ ベッドでの実技当がごございますので、スカートや素足での参加はご遠慮ください。
- ※ 昼食は各自でご準備ください。
- ※ 講習会に関する個人情報につきましては、社団法人日本ノーリフト協会高知支部が保管します。

【申込先・問い合わせ】公益社団法人青森県老人福祉協会 鹿内・三上

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号

電話:017-731-3755 FAX:017-731-3756 E-mail: roshikyo@themis.ocn.ne.jp

## 【No lifting Policy-持ち上げない看護・抱えあげない介護-介護や看護の腰痛予防対策を！！】

ノーリフト®とは、オーストラリア看護連盟(ビクトリア州)が看護師の腰痛予防対策のために1998年頃から提言したもので、危険や苦痛の伴う、人力のみの移乗を禁止し、患者さんの自立度を考慮した福祉用具使用による移乗介護を義務付けています。これが「ノーリフティングポリシー」です。

日本でも看護師・介護労働者の腰痛が多発しています。2012年に日本ノーリフト協会が行った調査においても看護や介護についてから腰痛を経験している人が72%以上となっていました。

安全で安心な看護・介護を提供するには、病院や施設で患者さんの状態に合わせて福祉用具を有効に活用し、介助者の腰痛予防にも取り組むことが不可欠です。2008年ごろから日本でノーリフトの活動開始し、2013年ごろよりノーリフトを取組むとケアの質(褥瘡や拘縮予防)も変わることがわかりました。そのため、日本ノーリフト協会は、日本の病院や施設での腰痛予防対策を成功事例とした労働安全衛生マネジメントの構築と、拘縮や褥瘡を予防するため(寝かせりゼロ)ケアの質の向上を目的に「ノーリフトケア」という愛♥言葉を使用し活動しています。「ノーリフトケア～ケアを変える腰痛予防対策～」で、看護・介護・福祉の現場から職業病としての腰痛をなくしましょう。

## 【日本ノーリフト協会の設立趣旨と目的】

ノーリフトに関わる人が、看護や介護に関わる人の腰痛を職業病としてあきらめるのではなく、ケアのプロとして予防と対策を実施できるようになること、また、腰痛予防対策をツール(よい機会/チャンス)として、医療や介護現場に労働安全衛生マネジメントを定着させること、そして、褥瘡や拘縮の悪化、寝かせきりをなくし、プロとして、ケアを業務にしないようにケアの質を再検討する機会をノーリフト(腰痛予防対策)を通して伝えることを目的とした組織を設立いたしました。

日本ノーリフト協会は、腰痛予防対策をリフトなどの機器を使うことを推進しているではありません。あるいは、ノーリフトの導入を協会の活動目的としている訳でもありません。

介護ロボット、機器や福祉用具は、あくまでもケアに関わるプロが活用する1つの道具でしかありません。ノーリフトや他のどんな移乗介助方法もこれはあくまでの必要であろうと思われるケアを考える為の道具です。どのようなケアを提供することがよりよいのか、ご本人のサポートにつながるのか、あるいは道具があるからこそ自立できることがあるのか?など・・・

ケアのプロとして、腰痛を対処療法でなく、予防対策として実施する知識や戦略をもつことによって、今までのケアも見直すきっかけを作れるようになること、そして、1人で完璧にしようと抱え込むのではなく、ケアを受ける側の自立をサポートするために、自分の周りにある資源(人・物・環境あるいは制度など)を多いに活用できるケア提供者になることを目指しています。

